

【九州大学芸術工学部 芸術工学科 音響設計コース】(2020年度入学者)

1. 学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)

A) 関心・意欲・態度

- ・音に関連する芸術、科学、技術のすべての分野に関心を持ち、それらの専門的知識を自発的に修得して、自らの専門性を継続的に発展させる意欲を有する。

B) 知識・理解

- ・音響設計の専門家として必要な音に対する感性と、音に関連する文化、環境、情報の各分野についての専門的知識を有する。

C) 能力・技能・実践

- ・音に関連する芸術、科学、技術的な側面と人間や社会との関わりを理解し、専門的知識を応用して総合的かつ実践的に課題を解決する能力を有する。

2. 教育課程の編成 (カリキュラム・ポリシー)

- ・本コースでは、低年次において基礎科学やデザインリテラシーの授業とともに、音に関連する芸術、科学、技術の分野に関連する基礎科目を配置する。
- ・その後、音響設計の専門家として必要な、音に対する感性と音に関連する文化、環境、情報の各分野についての専門知識を修得、深化させ、さらにコースの専門科目やコースにまたがる横断的な科目を履修することを通して、総合的に課題を解決するために応用する能力を修得させる。

3. 入学者選抜方針 (アドミッション・ポリシー)

- ・音に関連する芸術、科学、技術の幅広い分野に関心を持ち、専門的知識を自発的に修得する強い意欲を有する。
- ・音響設計の専門家として必要な音に対する感性と、音に関連する文化、環境、情報の各分野についての専門的知識を修得するための基礎学力を有する。
- ・音響・音楽等に関する強い関心や有意義な経験を持ち、芸術的感性を有して個性豊かであるとともに、音響設計コースにおいて自主的に修学する意欲を有する。